

やまとひめのみことさいしあと
倭姫命祭祀跡
 (大宇陀本郷照巢)
 てれす



第11代垂仁天皇の第4皇女である倭姫命すいにんは、崇神天皇の命を受け、御杖代みつえしろとして天照大神を安定して祀ることができるところを求めて、三輪の御諸宮みむろのみやから阿貴野宮あきののみやにお着きになりました。そして、ここに社殿を建てて天照大神をお祀りまつされました。

この時、倭姫命は御年十一歳。天照大神のお言葉をお聞きになり、一生祀り続ける身になられたのです。照巢は、最初に天照大神を祀ったところといわれ、現在、その地には石碑が建てられています。

■照巢の山道を登ったところに倭姫命祭祀跡があります。

地域で結成された『倭姫命奉賛会』では、平成30年度宇陀市観光施設整備事業費補助金を受けて、看板の設置や登山道を整備されました。祭祀跡には光が木々の間から降り注ぎ、明るい雰囲気漂っています。

▶阿紀神社は、天照大神を祀った場所で「元伊勢」と呼ばれており、社殿は唯一神明造り。伊勢神宮内宮と同じ造りで、鰹木(かつおぎ)が十本と、この神社の格式の高さを表しています。



今日の Pick Up **大きくなったら選挙に行こう!**
議会見学プログラム



1月27日から2月6日までの間、市内の全小学校6校224人の児童が、宇陀市役所を訪れ、議会の模擬体験をしました。

市長や副市長からの話の後、市役所や議会の役割について学びました。そして、市長・議長・議員などの役割にわかれ、所定の席に着き、本番さながらの議会を行いました。議題は『卒業前に感謝をこめて学校をそうじすること』と『学校の制服を私服にすること』でした。児童は賛否それぞれの意見を述べ、採決まで行いました。



体験後の感想を聞くと、議長役の児童は「あまり緊張せずに、はきはき言えました。賛否同数の時は議長の判断で決まることを知り、責任重大だと思いました」と話してくれました。また「18歳になったら、きちんと投票しなければいけない」と話す児童もいました。

未来の宇陀市議会で、堂々と発言する人が出てくれることを期待しています。

